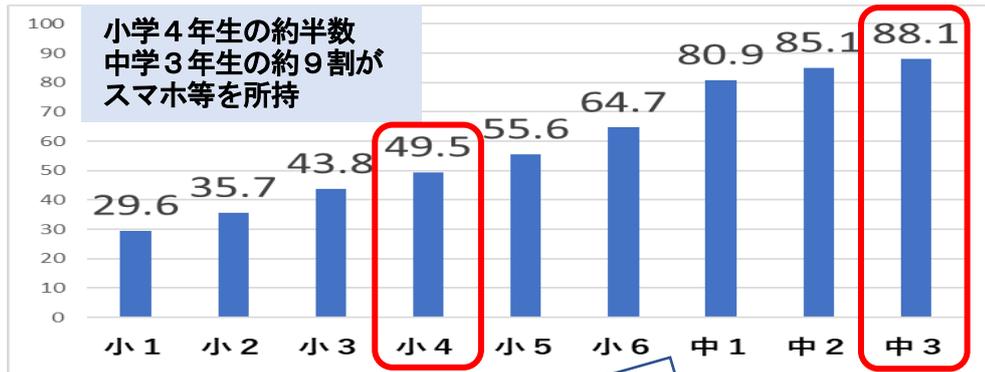


## 安全で安心なインターネット利用のために

(「携帯電話・インターネット等に関する調査」(R6.2) より)

### 自分専用の携帯電話・スマートフォンを所有している児童生徒の割合

<愛媛県>



自分専用の携帯電話・スマートフォンを所有している児童生徒の割合は、学年が上がるにつれて高くなり、小学校4～6年生では約57%の児童、中学校では約85%の生徒が所有しています。特に、中学生は、携帯電話・スマートフォンが身近な情報通信機器となっていることが分かります。



### インターネット利用に係る主な被害状況



<愛媛県>

(※複数回答可 ( ) 内はR4年度比)

回答	小学校 (%)			中学校 (%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
インターネットの掲示板やメールで悪口	2.4 (+0.4)	2.2 (-0.2)	2.7 (+0.4)	3.4 (+0.8)	3.3 (+0.2)	3.6 (0.0)
知らない人から何度もメールや電話があった	3.9 (+0.6)	4.7 (+1.1)	5.4 (+0.9)	7.4 (+1.4)	6.9 (+0.1)	7.4 (-1.0)
他人からしつこくメールを送られたり、つきまとわれたりした	1.4 (+0.1)	1.6 (+0.4)	1.4 (0.3)	2.2 (+0.5)	1.6 (+0.1)	1.6 (-0.2)
インターネットで知り合った人と実際に会った	1.1 (0.0)	0.9 (+0.1)	0.9 (+0.3)	1.2 (+0.3)	1.7 (+0.2)	1.6 (-0.4)
ラインで仲間外れにされた	1.2 (+0.1)	1.6 (+0.1)	1.9 (+0.4)	2.2 (+0.5)	1.5 (-0.1)	1.1 (0.0)

(参考)

最も多い 2番目に多い 3番目に多い

調査結果を見ると、「知らない人から何度もメールや電話があった」と回答した児童生徒の割合が全学年で最も高く、次いで「インターネットの掲示板やメールでの悪口」、「ラインで仲間外れにされた」の回答が多くなっています。

児童生徒は、日常的に SNS や生成 AI 等を使用できる環境の中にあって、個人情報の流出をはじめ、誹謗中傷やいじめ等、被害者にも加害者にもなるリスクが高まっています。

子供たちは、様々なアプリやサービスを使っており、特に SNS では、何気ない会話がいじめに発展したり、不適切なコメントや写真等を投稿して、自分だけではなく他人にも迷惑をかけたりするトラブルが発生しています。

インターネット上に発信された情報は、世界中の人から見られる可能性があり、投稿した情報は、第三者がコピーしたり、別の場所に投稿したりすると消すことができません。起こってしまった後で、いくら後悔しても、時間は元に戻りません。

SNS での安易な情報発信が危険につながることを、子供たちに繰り返し教えましょう。

また、「インターネットで知り合った人と実際に会った」割合は少ないものの、調査人数が各学年約 10,000 人であることを考えると、その人数は決して少なくありません。

インターネットで知り合った人に安易に個人情報を教えたり、直接会ったりすることの危険性（心や体に生涯消えない深い傷を負うばかりか、生命にかかわるような事件も起きています。）を理解させ、「自分は大丈夫」と思わないよう、被害を回避する力を身につけさせましょう。そして、万一被害にあった際には、一人で抱え込まず、すぐに身近な大人に相談すること、相談できる人が身近にいない時は、警察や専門の窓口で相談する勇気をもつことを伝えていきましょう。

## ■ 被害を未然に防止するために各学校での指導や家庭でのルール作りを！

先の調査において、「ルールを決めている家庭の割合」は、小中学校で約 70% となっています。インターネット利用に関する家庭でのルール作りが、子供を守ることにつながります。長期休業中は、1日のうちの長い時間をインターネットの閉じた世界で過ごす子供が増えます。その分、インターネットに起因する事件等が増加する可能性があります。子供たちを守るために、各学校においては、繰り返し情報モラル等について指導するとともに、各家庭への啓発をお願いします。

<指導の参考資料>

【インターネットトラブル事例集 2024 年版（総務省）】

加害者にも被害者にもならないために、事例で学びましょう

【話合っていますか？家庭のルール

保護者用啓発教材（文部科学省）】

ルール作りのポイントを押さえましょう

